

MASUKI INFO. DESK FIGHTING REPORT

関西の政治

No. 242
【発行・編集】
MASUKI 情報デスク
増木直美
大阪府豊中市上新田2-6-25-113
TEL 090-3710-4815
FAX 06-6835-0974
http://mid.parfe.jp/
mid@jewel.ocn.ne.jp

● 祝祭日には国旗を掲げましょう・卒業式には「仰げば尊し」を！

政治家の覚悟—「うちは首を2つ取られた」

今こそ憲法改正の好機かも
M情報 増木直夫

各位に維新の応援をしうとは言わない。ただ憲法改正の応援をしてほしい。その手段として維新の応援をすることも一方法であることを頭の隅っこにおいておいてほしい。維新を煽って自民を動かすのだ。決して身贖いではない。何か変わるような気がする。

大阪府の吉村洋文知事が立憲民主・枝野幸男代表辞任に「政治家の進退は個人の判断」
11/2(火) スポーツ報知

略

吉村洋文大阪府知事

憲法改正については、自民党に厳しい意見をぶつけた。大阪維新の会は大阪都構想で2度の住民投票を行い敗北。橋下徹元代表は辞任し、松井一郎代表も大阪市長の任期をもつて代表を辞任する。

「岸田総理が本気で憲法改正したいかにかかっている。自民党が腹くくって改憲するというのなら協力する。総理総裁の首が飛んでもやるかどうか。やるやる詐欺に付き合うつもりはない。うちは大将の首を2つとられている」と切り捨てた。

改憲勢力、議席伸ばす 躍進の維新
議論進展要求 11/3 時事通信

日本国憲法の公布から67日で

75年を迎えた。

衆院選では、「改憲勢力」とされる自民党、公明党、日本維新の会、国民民主党の4党が憲法改正の国会発議に必要な5分の2の議席を超え、勢力を伸ばした。躍進した維新は、年内に召集見込みの臨時国会や来年の通常国会で、停滞している改憲論議の進展を迫る構えだ。「党である憲法改正に向け、精力的に取り組む。与野党の枠を超え、5分の2以上の賛成を得られるよう議論を深める」。岸田文雄首相（自民党総裁）は1日の記者会見で、衆院選を踏まえて改憲論議の前進を図る考えを強調した。

衆院選で、自民は2の1議席の絶対安定多数を維持し、維新は公示前の4倍近くに躍進。公明、国民も議席を伸ばし、改憲勢力の議席は4党で324から345に増えた。首相は衆院選前、5分の2の310議席確保は「無理」と語っていたが、大きく上回った。

議席数以上に注目されているのが勢力順。衆院第1党は自民、第2党は立憲民主党で変化はないが、維新が第3党、国民が第5党に躍り出た。第4党の公明と合わせ、トップ5党のうちの4党を改憲勢力が占めた。

一方で改憲に慎重な勢力は後退が目立つ。立民と共産党は議席を減らし、慎重派の旗振り役を務めてきた立民の枝野幸男代表は近く引責辞任する。

改憲をめくっては、国民投票の利便性を高める改正国民投票法がの月、提出から6年を経て成立。改憲勢力は参院でも4党の会派で5分の2以上を占める。自民や維新は手続き法の議論は一段

落したと主張しており、新たな勢力を背景に改憲案起草の議論を始めるよう要求を強める構えだ。

自民党幹部は「改憲論議は確実に進める」と強調。維新の松井一郎代表は11日の会見で「来年の参院選までに改憲案を固め、参院選と同時に国民投票を実施すべきだ」とぶち上げた。

ただ、改憲の発議に行きつくかどうか先行きは見通せない。自民が緊急事態条項創設や自衛隊明記を重視するのに対し、公明はいずれに対しても消極姿勢を崩していない。改憲内容をめぐっては改憲勢力内でも隔たりが大きい。首相は自民党総裁選中に「任期中に改憲の実現を目指す」と明言したとはいえ、その本気度をいぶかる声は根強い。実際、首相は衆院選の選挙戦ではほとんど言及せず、1日の記者会見では「国民の理解を得るための活動もしっかり行っていく」と国民の理解を重視する考えも示している。

参院選までに憲法改正案を 松井維新代表 11/2(火) 時事通信

日本維新の会の松井一郎代表は11日、大阪市役所で記者会見し、憲法改正について「来年の参院（選挙）までに改正案を固め、参院選と同時に国民投票を実施すべきだ」と述べた。

松井氏は「憲法審査会をポイントとする立憲（民主）党」、共産党を待たずして議論を進まない。（与党が）スケジュールを決めないで先延ばしになる」と指摘。

議会質問。議員。自治体等からの報告

「第7回日台交流サミット」神戸」報告

ニース 川西市議会議員 中曾千鶴子

500人を超える史上最多の参加者で神戸宣言が採択され、盛会でした。川西市議会からは、私ひとりだけでしたが、北海道から沖縄まで、全国の議員が集結。大阪市会、辻淳子議員がおられました。兵庫県知事、神戸市長、芦屋市長、全国の錚々たる首長、議員の勢揃いでした。

台湾の頼清徳副総統や台北駐日経済文化代表処謝長延大使のメッセージには、日本と台湾の連携と共助は、世界の平和のモデルになると素晴らしいお言葉でした。基調講演は、ロバートD.エルドリッチ博士のアメリカから見た日台関係、日米台は運命共同体である今後の中国の脅威への戦略や連携強化の必要性など素晴らしい講演でした。パーティーでは、高校生龍獅團の演舞、同じテーブルの加西市議やたつ市の女性議員や明石市議団と交流。台湾を思っ保守系議員のたくさんの方々と思いをひとつにできて良かったです。

神戸宣言

→ 日本と台湾の交流、連携

①日台外交安全保障政策、日台関係基本法制定
②台湾のWHOやJCAO、JCPOなどに参加実現
③CPTPPの台湾加盟
④コロナウィルスに打ち勝つための相協力、人類福祉の向上。

日台の友好親善の絆を永遠につなぐ戸宣言が採択され日台関係強化の礎となる貴重な会でした。実行委員会事務局長上島議員他、実行委員会の先生方、有難うございました。

神戸市で「日台交流サミット」連携促進へ「神戸宣言」採択

11月12日 NHK

「日台交流サミット」が神戸市で開かれ、経済や文化などさまざまな分野で日本と台湾の交流を促進し一層の連携をはかっていくことなどを盛り込んだ「神戸宣言」が採択されました。

「日台交流サミット」は、日本と台湾の交流活動に取り組む地方議員などが平成27年から毎年、開いているもので、7回目の今回は初めて神戸市で開催されました。

サミットで、日本との窓口機関、台北駐日経済文化代表処の謝長延代表がはいさつし、「台湾と日本はお互いが助け合って家族のような交わりだ。」このよう

な関係は世界の模範となるものだと信じている」と述べました。そして、日本と台湾の間で、経済や文化、それに観光などさまざまな分野で交流を促進し、一層の連携をはかっていくことなどを盛り込んだ「神戸宣言」が採択され、閉幕しました。

謝長延代表は「多くの人が集まってくれてうれしい。日本と台湾は新型」コロナの影響で交流が中断していたが、コロナは落ち着きつつある。収束したらすぐ以前のように交流していきたい」と話していました。」

護国神社例大祭、「県知事ら公務参列」政教分離反する「の」声も

9-15 朝日新聞デジタル

戦争で亡くなった地元出身の軍人らをつめる護国神社が開く例大祭に、富山、石川、静岡、鳥取、島根、広島、山口の7県の知事ら県幹部が、過去の年間のうちに公務として参列していたことが市民団体の調べでわかった。「県は」社会的儀礼の一環」などと説明する一方、出席しない理由に「政教分離に反する」を挙げた県もある。

憲法20条は「信教の自由」の保障とともに宗教団体が国から特権を受けることを禁じ、「国及びその機関は、宗教教育その他いかなる宗教的活動もしてはならない」と政教分離の原則を定める。軍国主義と国家神道が密接に結び付き、

戦争に突き進んだことへの反省が背景にある。今回、調査をしたのは日本基督教団の関係者らでつくる「靖国・天皇制問題情報センター」。

今年5〜7月、東京都をのぞく46道府県に、①過去の5年間(2016〜20年度)の護国神社の例大祭への知事・職員の出席の有無②出席依頼の有無と依頼元③祭事での振る舞い(玉串拝礼など)④公用車の使用など往復の交通手段——などを質問し、40道府県から回答があった。

調査結果によると、例大祭に公務で出席したと答えた7県のうち、知事が出席したのは静岡、鳥取、山口の3県。4県は副知事(石川県)や厚生部長(富山県)ら幹部だった。いずれも地元の護国神社や遺族会などから出席の依頼があったといい、神道の儀式である「玉串拝礼」などの祭事を行った。

公用車を使ったと回答したのは富山、石川、静岡、鳥取、山口の5県。市民団体とは別に、朝日新聞が7県に玉串料の公費支出を確認したところ、すべて「支出していない」と答えた。最高裁は1997年、靖国神社など公費で玉串料を払った愛媛県に対し、「県が特定の宗教団体を特別に支援している印象を一般の人に与える」などと指摘し、政教分離違反にあたることを判決を出している。

知事や職員らが出席した理由については、「国を思い、家族を案じつつ亡くなられた戦没者の慰霊及び遺族への慰藉(いしや)・激励のため出席している」等。

川内時男校長の教育宣言

徳島県立中学校校長 川内時男

<http://100ps.info/katudoukirok>
[u/nakama/R2-1-17kawauti/ro.htm](http://nakama/R2-1-17kawauti/ro.htm)

44、伝統教育の正しさを脳科学が証明した (7/5)

現役時代、講演会で、ある脳科学者から「脳科学の視点に立つて最新の教育について考えていくと、我が国で古くから行われていた教育が正しかったと言ったことが分かる」と聞かされたことを覚えています。中でも強く印象に残っているのは「現代教育では暗記・暗誦は無意味とされているが、実はこれが脳を活性化させる」ということでした。

私は数学教師でしたから、脳を活性化させるには、数学の難しい問題に取り組ませ、頭が熱を持つほど深く考えさせるのがよいと考えていました。しかし脳科学的にはそうではなかったのです。数学の問題に悪戦苦闘している時は確かに脳は熱を帯びます。しかしそれは脳のごく限られた部分でしかなく、脳全体が活性化するというものではありませんでした。研究調査の結果、脳が最も活発に働くのは実は読書している時で、それも声を出しての読書（音読・朗読）をしている時だったということです。加えて暗記・暗誦も脳の活性化

に極めて高い効果のあることが分かりました。朗読・暗記・暗誦・・・これも現代教育が「時代遅れ」なところ振返りさせたいものばかりです。

今、小学校では少くも論語や古典の暗記・暗誦が復活して欲しいのです。論語の暗記・暗誦に関しては多くの学者から「子供には難しい」との声がありましたが（今までも同じ声は多く聞かれました）。また「意味も分からないまま暗記することに何の意味があるのか」という人もいます。しかしこれは大きな間違いだったのです。暗記・暗誦は脳を活性化させるのです。子供には難しい？意味が分からない？意味が分かなければ教えてあげばいいのです。「難しいから教えない」というのは、つまり子供でも分かるような易しいことしか教えない、と言ったことではなく、子供の知識が貧弱になります。これでは子供の知識脳は栄養不良になります。大人の思いとは反対に、実は子供は高度なことを学びたいものなのです。高度な知識を身につけることに格好良さを感じているのです。義務教育段階の子供は知性脳が発達していない分、大人が及ばないほどの暗記力を持っています。これから生きていくために豊富な知識が身につけられるようにと自然が作ったのでしょう。とは言っても子供の中には丸暗記が苦手な子もいます。特に私などは徹頭徹尾、暗記が嫌いでした。理由は面白くないから

です。しかし子供がどれほどいやがっても、かけ算の九九と同じで、必要なことは教え込まなくては行けないのです。子供の気持ちを忖度してばかりでは教育は出来ないのです。

45、小学校からの英語教育 (7/8)

今年から小学校高学年（5・6年生）における英語教育が必修化され、正式に「教科」となりました。週2時間の授業です。昔では賛否両論あるようでした。賛成する声は「国際化の時代だから」「英語は幼少時から始めないと身につかないから」というもの、そして反対する声は「外国語より母国語が大事だ」「母国語と英語、どちらも中途半端になる」などです。うちの意見もそれなりに正しいように聞こえます。では脳科学の視点に立つとどうでしょう。結論を先に言いますと、小学校からの英語教育など、いなくても間違いです。絶対にやらないけないのです。反対意見の中で代表的なものは「そこまでして小学生に英語教育をする必要があるのか」というものです。我が国は島国であり、古くから日本語という単一の言語に慣れ親しんできたことから異国の言葉に馴染みがありません。そのためかどうか、外国語（特に英語）が話せることに憧れ、これを過大に評価しがちです。流暢に英語を話す人を見ると、まるで超人リットであるかのように思い込む傾向があります。しかしよく考えて下さい。英語が話せることはそれほど価値のあることですか。私は

海外で計9年間生活してきましたが、そこで知ったのは、海外で生活しているれば、言葉など何とかなる、と言ったことです。私はインドネシアのメダン日本人学校に3年間赴任していたことがあります。もちろんそれまでインドネシア語など一度も勉強したことがありません。運転手、メイド、学校のスタッフ等は全員インドネシア人です。日本語は全く通じません。それでも身振り手振りを交えて会話するうちに何とか通じるようになります。因みに私の長女（当時3歳）は現地に到着してから2週間後には隣に住む中国系インドネシア人の女の子とインドネシア語でわめきながらつかみ合いの喧嘩をしていました。何が言いたいか、つまり外国語などは現地に行けばわずか数ヶ月で身につくものであり、わざわざ子供の貴重な授業時間を潰してまで学ぶ価値はないということなのです。中学から始めれば十分なのです。小学生は学校教育で身につけなければならぬことが山ほどあります。英会話の習得などにうつづを抜かしている暇はないのです。

小学生に英語を学ばせる理由に「国際化の時代だから」というのがあります。第一「国際化の時代」などと言っている人は「国際」の意味が分かっているのでしょうか。ともあれ、週29時間しかない授業の中に2時間の英語が繰り込まれれば、その分他の教科の時数が圧迫され、教育全体が歪になってしまいます。

台湾人日本国籍確認訴訟・原告陳述書

陳述書

令和3年10月12日

東京地方裁判所民事第3部A2係御中

令和元年(行ウ)第643号事件

原告 楊 馥成

1 私、楊馥成(よう・ふくせい)は1922年(大正11年)2月21日に台湾において日本人の父と日本人の母との間に日本人として生まれました。いま、数え年で100歳になりました。来年の誕生日を迎えると満100歳となります。

2 私の先祖は国姓爺合戦で知られている鄭成功に繋がります。鄭成功は明末の將軍ですが、母は平戸の日本人であり、「抗清復明」を誓い、台湾を拠点として清と闘い、台湾を支配していたオランダ人を追放しました。中国は当時から台湾を「化外の地」として疎遠し、台湾全土を施政下に置いたことはありませんでした。

3 私は地元の小学校に通って卒業し、1年間地元(昔の寺子屋)で漢文を勉強した後、嘉義農林学校(以下「嘉農」といいます)に進学し、5年間の過程を終えて卒業し、台南州の農林課に就職しました。

嘉農のことは、野球部が甲子園で準優勝したことを描いた映画『KANON』1931海の向うの甲子園』が台湾

で大ヒットし、日本でも上映されて知られています。嘉農での教育はもちろん国語の日本語でしたが、先生方は私たちにも内地人(日本から仕事などで台湾に来た人たちやその子弟)と本島人の分け隔てなく可愛がって下さり、熱心に教育にあたって下さいました。今も恩徳を忍んで懐かしんでいます。

4 台南州の役人となって2年目の43年(昭和18年)、新聞の募集広告をみて軍属に応募しました。応募者が殺到した狭き門を合格しました(50名の合格者うち内地人は7-8名でした)。南方軍野戦補給部隊に配備され、シンガポールに赴き、岡部隊の一員として補給戦の任務を果たしました。高砂義勇隊のことはよく知られていますが、多くの台湾の若者が志願して日本軍人軍属となり、支那事変、太平洋戦争に参加し、数多戦場の露として消えていきました。米英仏蘭はアジア人を劣等民族として近代的教育を施すことなく、愚民化政策を敷いて奴隷のように扱っていました。日本が台湾で行ったことはこれとは正反対でした。軍属に応募したのは、私も日本人の一人として日本を護り、アジアを植民地支配から解放するために戦つことに尊い使命を感じたからです。

5 日本の敗戦を知ったのはシンガポールとスマトラの間にある「ソンドル島」にいたときでした。私も、そのときそこを根拠にして付近の農作物を買

い集めてシンガポールの本部に送る任務を行っていました。玉音放送で聞いた敗戦のことは暫く茫然として信じることができませんでした。上官の石黒小隊長から日本と一緒に行くことを誘われましたが、考えた末、台湾に戻ることにしました。戦後の日本と中国の親善の架け橋になろうと思ったからです。ところが台湾では蒋介石がマッカーサーの命令で占領支配していました。蒋介石が連れてきた大陸の軍隊はひどいものでした。規律も道徳もなく汚職に塗れていました。台湾の人たちは、心から大陸からやってきた難民たちを軽蔑していました。

6 47年2月28日に二二八事件が起こりました。台北の繁華街で閩たばこを売っていた老婆が軍当局の摘発隊に金品を奪われて殴打されたのを目撃していた住民が抗議し、発砲を受けて死亡したことをきっかけに始まった抗議運動を、蒋介石は重装備の鎮圧部隊を使って弾圧しました。台湾全土で2万8000人も犠牲者を出した大虐殺事件です。その後、いわゆる白色テロは戒厳令が87年に解除されるまで40年間続いたままです。日本の教育を受けた医者、学者、教育者といった知識人は反体制異分子として次々に逮捕され、投獄され、多くは惨殺されました。私も軍属として日本に協力したかどで捜索を受け、マルクスの著作を書棚においていたのを見つけれられて逮捕され、50年8月から7年もの牢獄生活を強いられました。逮捕当時、私は「和平日報」という新聞の記者をしていました。私は共産

主義者ではありません。ただ、教養として他の哲学と共にマルクスを読んでいただけでした。

7 50年8月から7年間にわたる牢獄生活を強いられました。拷問を受け、裁判もないまま拘束が続くのです。恐ろしい体験でした。獄中であって、どんなに母国日本からの救助を期待していたことか。釈放後も「政治犯」「思想犯」の烙印を押され、当局の厳しい監視下に置かれましたが、アスパラガスなどの新興農産物の栽培の指導に従事し、新農法を指導するために招聘されて台湾にいられた福本敬介博士の助手を務め、農業に頼らざる農法の研究に打ち込みました。84年にフィリピン農業部の招聘でマニラに渡りました。そこでマニラに駐在していた中国大使と知り合い、その引導で台湾の国禁を冒して大陸に渡りました。それから25年間に渡り、中国大陸を遍く歩き回り、中国の農民に合理的施肥等の進んだ農法を指導してきました。中国の農業の近代化に貢献してきたと自負しています。03年、中国において国連派遣の駐華代表より『特別貢献賞』と『平和使者の称号』を授与されました。

8 96年、台湾では蔣家の没落によって、海外亡命者ブランクリストが廃棄されたため、台湾に帰れるようになりました。以来十数年、中国大陸と台湾を股にかけて農業関係の仕事を続けてきました。2002年に7年間の冤獄賠償として台湾当局から約80

〇万円の補償を受けましたが、ほぼ全額、嘉義大学の奨学金、農業発展基金会、そして孤児院に寄贈しました。2008年からは、老後を日本で過ごしたいと考え、台湾に近い宮古島に上陸し、株式会社を創設してビジネスを始め、間もなく沖縄本島的那覇に遷居しました。

9 沖縄戦終焉の地である糸満市の摩文仁の丘には、平和記念公園が建てられ、英霊を奉祀する聖地となっています。各県単位の慰霊碑や記念塔が林立し、韓国人慰霊碑も建てられています。台湾人の慰霊碑がありませんでした。台湾から軍人軍属として20数万が出征し、護国のために戦い、5万人あまりが帰らざる身となりました。「天皇陛下万歳！」と叫んで散華していった英霊は今もなお、太平洋上のあちこちの空で、或いは、東南アジアや支那大陸の荒野でさまよっています。

このままではいけないと思い、沖縄の有志の方々と一緒になって慰霊碑の建立に奔走しました。さまざまな障害がありました。14年に日本台湾平和基金を立ち上げ、16年に慰霊碑「台湾の塔」を設置し、18年には李登輝元台湾総統を迎え、その揮毫による『為国作見證』の石碑の除幕式を行いました。

「〇 これが百歳になった私の人生です。日本人として生まれ、日本人としての教育を受けて皇民となり、日本人として日本の存亡をかけた戦争にも参加し、命懸けで闘いました。戦争が終わって台湾に戻ってみると、軍属の経

歴と教養を理由に投獄され、釈放されてからも政治犯として監視下におかれました。大陸に渡って支那を遍く巡り、農業の指導に従事していたときも、自分が日本人だということを片時も忘れたことはありませんでした。私は中華民國の国民でも中華人民共和国の国民でもありません。裁判官の皆さんと同じく、日本人として生まれ、日本人として生きてきました。最後は日本人として死にたいと思います。

サンフランシスコ条約で日本は台湾を放棄しましたが、放棄したのは領土だけです。国民ではありません。日本国民だった台湾人を捨てることはできないはず。国連人権宣言は国籍の権利をうたっています。これに基づくとサンフランシスコ条約が台湾人の国籍の剥奪を認めるわけがありません。

最後に帰化ではなく国籍の確認を求めている理由に触れます。沖縄で台湾人の碑の建立に奔走していたとき、戦後生まれの日本人の多くが私たち台湾人のことを忘れていることを知り、日本が台湾の発展に対してどれほど尽くし、私たち台湾人がどんなに日本のことを恋しく懐かしく思っているかを知らない人もいます。そのことが最大のショックでした。台湾で日本がしてきたことを知って下さい。そうすれば日本のことを誇りに思えるはず

です。私はその生き証人です。私は中華民國の国民であったことはありません。もちろん中華人民共和国の国民でもありません。私の百年の人生をかけて言います。誰がなんと言おうと

私は日本人です。帰化は真実と私の思いに反しています。台湾には私と同じく天皇陛下の赤子であると自認し、国籍復帰を願っている人たちが沢山います。私はその代表としてこの裁判を起こしました。法と歴史を見通す目をもって、どうか私たちの願いをかなえてください。林余立原告、許華杞原告の陳述書は、
~~~~~  
工をこ参照ください。

R3-10-15

### 黄文雄氏メルマガがよい

日本人に知ってもらいたい「突然、日本人でなくなった」台湾人の悲哀

日本の統治を経験した台湾の人々の我が国に対する思いと「日本人」としての誇りは、私たちが思うより遥かに強いものようです。今回のメルマガ『黄文雄の「日本人に教えたい本当の歴史、中国・韓国の真実」』では台湾出身の評論家・黄文雄さんが、第2次世界大戦後に日本国籍を失ったことを不当だとし、6名の台湾人男性が起した訴訟を取り上げ、彼らにこのような声を上げさせた「深い思い」を紹介。さらに我々に対して、「日本人として死にたい」という台湾人が多くいる事実を知ってほしいとの訴えを記しています。

### ●「台湾に日本国籍復帰願う人がたくさんいる」 国籍確認訴訟結審

かつて日本人として、日本のために働き、戦った67人の台湾人男性が、戦後に日本国籍を喪失したことは不当だと

して、日本国籍があることの確認を求めた訴訟での口頭弁論が10月12日に東京地裁で開かれました。原告は、楊馥成（ようふくせい）さん（69歳）、許華杞（きよかき）さん（80歳）、林余立（りんよりつ）さん（94歳）の3人。楊さんは軍属として食料確保に従事され、また、林さんは日本海軍の航空廠工員や整備兵として活躍されたそうです。また、許さんは終戦時は小学生だったということ。現在、「台湾人日本国籍確認支援の会」という団体が、3人の訴訟を支援しており、御三方の経歴やプロフィールが掲載されています。

### ●台湾人控告日本政府 要求承認 恢復日本籍

そして2021年10月12日に結審となりました。判決は来年2022年1月1日だそうです。

楊さんは、「最期は日本人として死にたい」と言います。そして、帰化ではなく国籍の確認を求めている理由については「台湾で日本がしてきたことを知ってほしい。そうすれば日本を誇りに思えるはず」としています。あくまでも自分は日本人として生きてきたという矜持なのでしょう。台湾に「日本精神」を伝え続けてきたのも、こうした台湾人たちでした。

### ●「最期は日本人として」 歴史に翻弄された67歳元日本軍属

じつは元日本人の台湾人が日本国籍の確認を求めた訴訟は、1960年代

にもありました。19歳で学徒兵になった過去を持つ林景明氏が日本国籍であることの確認を求めて訴訟を起こしたのです。戦後、突然日本人ではないとされ、中華民国という縁もゆかりもないしかも台湾人を弾圧する独裁国の国民にさせられたことへの不満でした。

当時、私は早稲田大学の生徒でしたが、学内をはじめ新宿、渋谷の街頭などでも、この訴訟に対する署名運動を行い、東京地裁も高裁も傍聴しました。このときも世界人権宣言が根拠とされていましたが、しかし、いずれも敗訴。

林景明氏は日本から強制送還されることとなり、九州の大村収容所に送られました。私たちは書籍を集めて、収容所のなかで勉強するように勧めました。

かつて日清戦争後に日本に割譲された台湾でも、人々の国籍問題を確認する必要に迫られました。ところが、清の国籍を持ちたいと望んだのはたったの5000人だけでした。当時の日本政府は、これらの人々を強制送還することなく、「華僑」として取り扱いました。そして残りの台湾人をすべて日本人として扱ったのです。このことが台湾人の国籍問題の原点なのです。このように、日本時代を知る台湾人は、いまでも「日本人でいたかった」「日本人になりたい」という人が少なくありません。とくに国民党の時代を経ただけに、多くの辛い思いをしてみました。それだけに、日本に対する思慕の情も強いのです。戦後、日本にの工のが進駐してきたように、台湾も日本同様の敗戦国として、マッカーサーの第一号命令

により、中華民国の国民党軍が進駐してきました。国民党軍は中国や韓国以上に反日教育を行いました。学生たちが家に帰ると、その反日教育を親たちが是正するメカニズムがありました。それが反日に染まらなかつた一因でもあります。また、九州と沖縄とも共通の縄文文化圏であったことや、日本も台湾も島国であることで大陸や半島国家とは異なり、非常に親和性があることも、日台がきわめて相思相愛であることの一因でしょう。

ここが、同じ日本統治を受けたにもかかわらず、いつまでも日本叩きと恨み言を続けている韓国と全く異なる点です。韓国では旧日本軍に協力した者は売国奴扱いであり、日本時代に導入された事柄をすべて消し去ろうという「日帝残滓清算」を進めていることはよく知られています。台湾人が全く異なるメンタリティであることは言うまでもありません。世界一の親日国であることを、自認すると同時に誇りにしているのです。とくに、戦争時代に日本人として働いたことの誇りについては、「台湾少年工」の話が有名です。このメルマガでも何度か取り上げましたが、戦争末期に、名古屋や群馬の戦闘機工場などへ働きに出してきた台湾人少年工たちのことです。彼らは、筆記試験や身体検査で厳しく選抜され、校長と両親の許可を得て来日しました。もちろん強制的に連行されたのではなく、自分の意思で狭き門を突破してやってきたエンジニアでした。

権益は中国人に独占され、最先端の技術者たちはほとんどそのハイテクを生かすことができませんでした。彼らは、「自分たちが実力を発揮できていけば、台湾の産業はもっと発展していたはずだ」というこつうい自負を抱いていたのです。今でもこの少年工たちは「高座会」という団体をつくり、数千人の会員を有しています。1964年には神奈川県大和市で大会が開かれましたが、2000人以上の会員が来日したために交通渋滞が起こったほどでした。

韓国にも、同様の問題があったものの、こちらは1969年の日韓請求権協定で、「完全かつ最終的に解決」されました。もっとも、韓国はなお慰安婦や徴用工問題で難癖を続けています。誇り高い台湾人には真似ができない芸当です。台湾人日本兵のなかには、B級の戦犯で有罪判決を受けた者も200人ほどいますが、国籍を失ったことを理由に、やはり補償を受けられないできました。1974年、終戦を知らずにインドネシアに潜伏していた、台湾先住民アミ族出身の高砂義勇隊の元日本兵スニヨン氏(日本名は中村輝夫)が発見され生還した際、日本政府は未払い賃金などの名目でわずかの万円ほどが支払っただけで、同様に戦後しばらく後に発見され生還した横井庄一氏や小野田寛郎氏らの補償とはあまりにも落差がありました。そこで、戦後の国民党が支配する台湾から逃れて明治大学教授を務められていた王育徳氏を中心に、「台湾元日本兵士の補償問題を考える会」が結成され、署名や国会議員への陳情に走り回ったことで、日本

国内でも支援の輪が広がりました。そして王氏らは、1977年、台湾元日本兵への補償を求めた訴訟を起こしたのです。

結果的には1審2審と敗訴しましたが、2審の東京高裁では偶然にも王氏の旧制台北高等学校の同級生である吉江清景氏が裁判長で、原告の訴えを退けるのは司法上やむを得ないとながらも、判決書において「日本人に比べて著しい不利益を受けており、早急にこの不利益を払拭することを国政関与者に期待する」と付言したのです。この訴訟と同時並行するかたちで、こちらも台北高等学校のOBだった衆議院議員・有馬元治氏らを中心に政治的な働きかけが行われていたため、この控訴審の付言は国会議員を動かし、687年には超党派議員立法として「弔慰金」制度がつくられ、1人あたり200万円が支払われることになりました。楊さんら3人が起こした裁判では、日本人と台湾人の未来をさらに切り開くような判決であることを見込んでいます。そして日本の皆さんには、「自分は本当は日本人なのだ」「日本人として死にたい」という台湾人が多くいることを、そして彼らは、自分たちがかつて日本人だったことにどれだけ誇りに思い、そのことに胸を焦がしながら戦後を歩んできたかということも、もっと知っていただきたいのです。日本人であるということその歴史を大

事にしていただきたいのです。

# 杉田謙一の歴史・時事研究室

「草莽の記」よ

<https://blazar.rakuten.co.jp/seimeisugita>

## 松井維新党首の手腕で改憲発議を急げ

2021. 11. 08

これほど維新が伸びるとは正直思わなかった、希望の党があればどのプー△を巻き起こしながら瓦解してしまっただが、維新は宗教政党公明を抜いて代3番目の人数になった、大阪維新の大躍進はどこに原因があったのか、全国の立候補者の会見行脚を志して総選挙前に立候補者の多くを回ったM氏に聞いてみた。

誇りある日本を作るために滅私奉公を貫き抜いている政党だと彼は言った、身を切る改革とはまさに「滅私奉公」の言い換えの言葉だと彼は言う。かつての民社党と自民青嵐会とを合わせたような政党のように私には映る。愛知の県知事リコール運動の事務局をになつてとんでもない違法行動をなした田中氏は維新の候補者の一人、彼の行為は万死にあたるものであったため、愛知での維新はさほど期待されなかったように思うが近畿では圧倒的な強さを見せつけている。都構想問題では住民投票2連敗。その責任をとってか、松井党首は任期切れと同時に引退を発表

された。それはしかし国益にとって重大な損失。特に改憲政党としての重大な任務が残っているのではないか。身を粉にしても為さねばならぬ最大の国民福祉は国防であり改憲。これを成し遂げるのが松井維新の責務ではなからうか。ぜひ翻意を求めたい、

M氏に、活動を多岐にわたらせる一つ一つの課題への対処が弱くなる指摘を受けた。わかっているが私にとってはすべてが「滅私奉公」のつもりでありあとは己の能力の問題、これが厄介。一切が責務と心得、動くしかないが、一つずつ目鼻をつけておかねば、

M氏って、ひよっとしたら僕のこと。

マスキ

## 改憲派圧勝におわる

2021. 11. 01

衆議院選には本当に驚いた、共産党を友党として戦った立憲民主は開票が始まってからも、NHKでは相当の勝利を報じていたし、自民は単独過半数の維持は微妙と報じていた、現実には自民はマイナス15名にとどまり、共産立憲民主連合軍も併せて15名減少。増えたのは維新と公明、国民。全トの反共スタンスを軽視した枝野氏はおそらく辞任の選択を為すように迫られるのではなからうか。

うか。

国民の反発を招くとは、思ってもみなかったでしょう。維新の代議士を加えれば改憲派は3分の2を超えているではないか。静かにしかも確実に国家の根本を固めるべき時がやってきたのだなあと感慨もおぼえる。選挙序盤にて中露の艦隊威嚇も国民の国防意識を美おこしたのでしよう。更に自民党総裁選での高市さんによる保守層への護国メッセージは多くの国民の責務を知らしめ覚醒せしめたといえましよう。

4年間の任期のなか国民の愛国の情に耳を澄ませて憲法是正の悲願を堂々と実現させてもらいたいものであります。

## 台湾を思う

10-28

世界で最も紳士的な国家はどこか、こう問われればわたしは躊躇なく台湾と答える。

大東亜戦争において日本軍は台湾の皆さんのおかげで何とか戦線を維持できた。敗戦が決まっていたのはバンシー海峡にて撃沈された多くの船舶の李組員が遺体となって台湾に流れ着いたのです。その英霊を手厚く葬っていただき潮音寺を守ってくださいました方々、慰霊塔を建立してくださいました許昭榮先生、をはじめとする皆さん、そのご恩に報いることを放棄した日本の政権与党。日本国籍を保持したいと願われた多くの台湾の方を見ようともせず遺族年金を支

払うこともないままで済ませてきたわが日本国。

これらは一日本国民として誠に申し訳ないことだといつも心に引っかかってきた。善意の日本国民は感謝の思いから蒋介石総統を善意の人として敬愛した時が長く続いた、228事件の内容を知るまでは父も私も近隣の愛国者もすべて総統を敬愛もしていた。

しかし228事件を知ってからは台湾認識はガラッと変わった、日本の保守界の台湾認識は大きな間違いだと知り知人にかたるがてんだ柄あいてにされず、異端者扱いであった。しかし李登輝総統の時代から国民党の非道などが明かになる、多くの日本の愛国者も、やっと蒋介石崇拜から放たれるようになった。蒋介石神話が崩れたとはいえ国民党の力は絶大、国連常任理事国に入ったチャイナにわが政府すら手も足も出ない。

その中で僕らは潮音寺の支援や烏山頭ダムへの桜贈呈、宝覚寺に日台家族地蔵の贈呈安置などを成してはきた、独立を目指す民政府との交流などもなしたり、正名運動への協力などもなしてはきたが。台湾防衛に関して貢献なしに等しい状態。

その日本及び日本人に対して台湾の人々は日本の現状に悪態をつくどころか、先の東日本震災時には民間でなんと200億円の義援金を出してくださいました。

これを世界一の紳士国と言わずしてなんといえよう。

# 小石原健介からの世界から見た日本

## 対中国政策

11-14

政府の貧困な発想には言葉を失う、問題が起これば専門会議、デジタル化にはデジタル大臣、コロナにはコロナ大臣、ワクチンにはワクチン大臣、万博には万博大臣、大臣や省庁を増やせば問題が解決する」と

考えている。その新たに発生する歳費は赤字国債を発行すれば無限にあると考えている。世間の関心はコロナも収束に向かい。政府のバラマキによる人気取りの施策に向けられている。いつも南アを思い出す、あれだけ複雑な白人黒人たちの人種の坩堝である、この国家をほんの一握りの国家エリートが国を統治していた。彼らは質実剛健でいかなる言い訳もしない、出来ない、常に子々孫々たちの将来の行く末を真剣に考え、背水の陣で生活をしてきた。

こんな中で河添恵子女史の懸賞論文『真の近現代史』を読んで感激を新たにしました。特に最後に述べておられる『我々は今こそ画目を見開き、戦時に突入したとの緊張感を持ちつつ、これからの日本の在り方を考え行動に移すべき時がきている、ポスト・コロナという“灰色のトンネルを抜けた先が『雪国』でも氷河期でも

なく、脱中国共産党＝脱赤い毒牙の新生日本であることを心から期待しながら、私はいちノンフィクション作家として『今という歴史の瞬間』を書き残すことに誠意誠意、精進していきたい。』との言葉を為政者は胸に刻まねばならない。

## 日本の失われた時代

10-31

日本政府の経済財政諮問会議が設立されたのは中央省庁が改編された森喜朗内閣の2001年1月である。構成メンバーは全閣僚に財界や経済学者の代表たちである。内容はバブル崩壊以来、アメリカ主導の市場原理が恐ろしい勢いで日本を席卷していた頃である。この時の事情を藤原正彦氏は次のように語っている。

市場原理さえ浸透すれば経済は回復する。と神話のように我が国を覆っていた。催眠術にかかった如く。その線に沿った改革の嵐が吹きまくっている。規制緩和、ビッグバンなどは言いつまでもなく市場原理を働かせるためのものである。『官から民へ』『小さな政府』『中央から地方へ』なども、中央の規制をのぞき市場原理を保証するためのものである。とりわけ2002年小泉内閣、竹中平蔵経済財政大臣時代はその動きの極に達していった。

この時「愚かなり、市場原理信奉者」として厳しく警告を発したのが藤原正彦氏である。加えて河添恵子女史が語った『平成の時代、多くの日本企業は廉価な人件費、市場の大きさなどビジネスチャンスととらえ、中国に進出したが、その結果といえば、日本経済の轟沈につながっただけです。』である。

す『井の中の蛙大海を知らず』で自分たちの極周囲のことにしか頭が回らない。今朝の新聞を見ての私の驚きである。

維新の身を切る改革は、「減私奉公」の証であると理解している。何度も言ったが、「給与〇〇減給」は原理原則安易すぎる。「我々（議員）の給与は倍にします。その代わり国民の所得は3倍にします。」と言いつてもいい。議員自身の給与カット、誰にでもできる。そう宣言したらいいのだから私は、給与の減額ではなく、総人数をカットせよ。今の6割くらいに。せめた秘書の〜人くらいは雇えるような報酬を払う。そして何をやったかを厳しく問うべきと考える。 マスキ

## 国会議員の定数についての驚き

11-2

今朝の朝刊を見て先ず驚いたことは、衆議院選挙で当選した議員の顔写真が新聞紙上の六面に並んでいたことです。なぜこんなに多くの議員が必要なのか衆議院議員の定数は465名、これに参議院議員248名を加える713名。

他方GDPは日本の4倍の大国アメリカでも上院議員100名、下院議員の435名合わせても535名である。しかも日本の国会議員の報酬は世界一高給と言われており、国の財政は世界でトップの借金大国で財政は破綻している。この現状を岸田首相も財務大臣も経済学者、経済界人も誰一人指摘しない。健全な国家運営を考えれば国会議員の定数は二分の一でなく極論すれば四分の一にすべきである。日本人は相変わらず

## 台湾の存在感

10-15

今朝の朝刊の一面には、台湾の世界的な半導体メーカー（TSMC）は日本工場を建設する方針を明らかにした。政府、5000億円支援で調整の記事が出ている。

半導体と言えばジャパン・アス・ナンバーワンと言われた時代には日本は世界シェアの50%を占め世界トップの座を占めていた。現在は確か5%前後で台湾が日本に代わり40%の首位の座を占めている。なぜ、日本はこのように凋落したのか、日本人はなぜこれを学習しないのか。戦後、日



本は世界の人々の目を見張る発展を遂げた。その発展の根源は日本の経営の人間尊重による無意識のマネジメントの成果であり、これは人間尊重、人間主義、人間志向の理念・精神が満ち溢れていたという指摘である。この急速に力を付けて来た日本を脅威に考え、アメリカは日本潰しのため、「市場原理と自由競争」を日本へ持ち込み、日本人の強みである人間尊重・人間主義の規範意識を次々と破壊して行った。

これを藤原正彦氏は『愚かなり、市場原理信奉者』として金銭至上主義への警告を発した。他方小泉・竹中コンピにより市場原理主義が日本中を席捲した。製造業に至っては労賃の安い、取り分け中国へ中国へと草木も靡く勢いで工場の移転を図った。結果は日本の衰退に歯止めが利かない。日本人はなぜこうした失敗を学習しないのか。その点台湾は日本精神や日本の強みを受け継ぎ、戦後中国本土から来た中国人による徹底した台湾人への迫害(二・二八事件)にもめげず独自の発展を遂げ、九州よりやや狭い面積、人口2300万人の小国が世界にその存在感を示している。

# 台湾有事

10-15

中国は今年10月〜4日の間に計14機の軍用機の台湾の防空識別圏に侵入させるなど大規模な空中示威をくりかえしている。台湾は中国に全面侵攻の名

分を与えることを懸念して『絶対に先制攻撃をしない』という立場を改めて明らかにしている。台湾總統蔡英文女士はもし中国に侵攻を許せば台湾は破滅であると語っている。

台湾は日本がサンフランシスコ講和条約で台湾の領有権を放棄し同時に蔣介石が大陸からつれてきた中国人から酷い目に遇った。日本の統治時代にはなかった汚職や不正が蔓延して道徳は乱れ台湾はまさしく中国の植民地となった。

徹底した台湾人への迫害は俗にいう二・二八事件として勃発した。各地に於ける群衆の暴動は台湾全土に広がり、中国本土から派遣された二個師団は無差別殺戮、特に医師、弁護士、学者、教師などの知識層や優秀な若者が無実のまま裁判も無く次々と逮捕され処刑された。

この犠牲になった台湾人は三万とも五万とも言われているが、その実態は今も解明されていない。

中国の支配となった国の悲劇は今日でもウイグル、チベットさらに香港の現状を見ても良く分かる。平和ボケの日本は台湾有事など他人事では無く中国からの日本の防衛をどのように真剣に考えているのか、果たして二世三世のお坊ちゃん政治家や政府で中国に対峙できると考えているのか、中国に舐められた茂木大臣は留任。最近就航する空母型艦船を巡り防衛能力でなく攻撃能力もあるのではないのかと議論している。全く世界情勢から乖離した馬鹿な国民と言わざるを得ない。

# 曾野豪太さんのフズフズ!

## 国会議員は国民に見える討議をしてほしい

11-1

昨10月1日の衆議院総選挙で各候補者の当落の結果をうけて、対外的に強固な日本の外交姿勢が打ち出されることを念じています。国内の諸問題解決に向けての努力はいわずもがな、です。

① フランス戦略研究所 「中国沖繩の独立あおる」(2021.10.06.産経)

長年「琉球」「アイヌ」などの独立をあおる人士がいることが問題視されているが、政府対応策がマスコミを通じて聞えてこない。フランス人迄もが日本のことを心配してくれている。めるしほく

② 中国人民共和国憲法前文の結語は日本人への警告!

「...また、帝国主義、覇権主義及び植民地主義に反対することを堅持し、世界諸国民との団結を強化し、抑圧された民族及び発展途上国が民族の独立を勝ち取り、守り、民族経済を発展させる正義の闘争を支持して、世界平和を確保し人類の進歩を促進するために努力する。」

なぜ日本の左右の政治家、識者、マスコミは日本国憲法前文と中国共産党の中国共和国憲法結語を対比して日本防衛論を提起しないのか、摩訶不思議。

③ 10月9日、岸田文雄新首相、習近平中国主席と電話会談・習主席の国賓来日はテーマにあがらなかった由。その上で記者会見において首相は「中国主席の国賓来日について何も決まっていないと承知をしている」(一!)と付け加えた。

④ 茂木敏充外務大臣留任(王毅中国外務大臣は捧腹絶倒したことだろう)昨年12月東京での日中外相会談後の煌びやかな共同記者会見で、王外相に日本は釣魚諸島に手を出すと言われて、なんの反論もせず、にこやかに「謝辞」とのみ反応した茂木外務大臣の留任は、岸田文雄新首相の外交音痴を内外に示したことになる。

茂木外相の留任を聞いて王外相は「釣魚諸島は中国のもの」と確定したと同様である」と、と捧腹絶倒したことだろう。総選挙後は岸信夫防衛大臣との交代は如何?

⑤ 10月27日付け産経新聞社告:

「おことわり」眞子様は26日、小室圭さんとの婚姻届けを提出したことで皇室を離れ、

「小室眞子さん」となりましたが27日付け朝刊迄は従来通り「眞子さま」と表記します(1&29頁)

マスコミは皇室に対して敬称をつけて報道しないと談合している。自主性が無い!

# 徳永弁護士からのメッセージ

## おめでとう眞子様

2021年10月29日

僕は、眞子様の会見は素晴らしいかと評価しています。よりファンになりました。週刊誌ネタで誹謗中傷を繰り返す庶民の心根には本当にガッカリされたと思いますが、その怒りや悔みを精一杯押さえておられました。凛々しいお姿だったと思います。

まあ、そうしたゴシップ好きの庶民のいやらしい心根は、イギリス人も日本人も変わらないということがよくわかりました。ダイアナ妃のときのパパラッチやタブロイド紙のひどかったことを思い出します。受け狙いで誹謗中傷の嵐でした。庶民レベルでは、彼等の意識の程度が同じだということ日本人の一人としてしっかり受け止めていかなければならないと感じます。チャールズとダイアナの事は、どっちがいいか悪いではなく、男と女の恋愛模様は、洋の東西、時代の古今を問わず、さまざまであり、それが同じ人間の間の人たる所以であろうと達観するのみです。眞子様も今後、小室圭さんなどのような人生を歩まれるのか。彼に踏み台にされて捨てられる運命が待っているかも知れませんが、その時は、お帰りのさい眞子様と彼女の人生を国民の一人として受け止めるつもりです。もう、皇室ではないかかどうのこ

うのとは、別の事です。ところで、小室眞子様(新聞は一斉に「様」の敬称はとりやめたようですが、僕は眞子様に対する敬称は生涯護っていかうと思っております。)の旦那の小室圭さんが、アメリカの弁護士会から論文を評価する賞を受賞されたというニュースが入りました。アメリカの弁護士会が眞子様や皇室に忤度する理由はないでしょうから論文は、正味素晴らしい内容を含むものだったと思います。まだ若造の部類に入るとは、それなりに評価すべきことです。日本の右翼気取りのいうことを真に受けていた僕も小室圭氏の能力については懐疑的だったのですが、襟を正すべきだと考え直しました。(ごうせ、どっかの眉唾のネット・ニュースが怪しげな証拠なるものに基づいてこれを否定、批判することは目に見えています)とにかく日本のプリンセスの新しい門出です。幸あるよう祈るばかりです。

## 小室圭さんが眞子様の旦那に相応しくないという主張について

2021年11月4日

女の経済力を頼りにヒモ生活を夢見

る男がその司法試験というそれなりの難関を目指しますか、という事です。僕は22歳のころに司法試験を目指す事にして、基本書を揃え、一から勉強をはじめ、授業に出るようになりましたが、本当に大変でした。最初は法律の本を読んでも全く内容がわからず、わからなくても構わないからとにかく1日300頁読むという事から始めましたが、2時間かかりました。そんなことを1か月2か月続けているうちにようやく意味を解することができるようになり、次第に判例を読み通せるようになり、法的な議論を理解できるようになりました。

## 保守派、右派の皇室に対する尊崇とは？

2021年10月10日

左翼の皇室に対する侮蔑や軽視は、その思想故だと考えて甘受していません。それこそ「愚者の楽園」の語りだとして。しかし、尊王を掲げる右派陣営において皇室に対する尊崇を欠くしかも、その行状や考え方、嗜好といった世俗的なことを捉まえて「バカ娘」呼ばわり。しかも、そういう不敬な物言いを容認するものも少なくないようです。保守派、右派の皇室に対する尊崇とはなんなんでしょうか。男系か女系か、南朝か北朝かという議論以前に国民の皇室に対する尊崇の念が絶えてしまつのではないかという喫緊の問題を眼前にして皇統の連続に対する危機をもたざるをえません。今、男系皇統の永続の為、宮家復活の案がでています。これも具体的な復活宮家の「顔」がみえてくると、必ず、ゴシップ週刊誌が些細な世俗的

キャンダルをとりあげてピーチクパーチクしだすと、怪しからんのだと、反対だとか、詐欺師だとかなどと国民が騒ぎだして頓挫のやむなしに至ることは必至ではないかと懸念します。例えば、これは全くの仮定ですが、竹田恒泰さんが、その対象となったとする、次の日から週刊誌やらモーニングショーがその過去の言動や女性遍歴等をとりだし、「これで国民の理解は得られるのか」などとやりだすことは目に見えるようです。

◆一時支給金の辞退について  
これが実例として残れば、今後は、その都度、引用参照されることになりま

す。  
国民の納得などといえば、聞こえはよいのですが、結局は無節操な週刊誌が国民の声を騙って世論を作り左翼連中が、これを引用してあたかも国民の声であるかのようにフレームアップする。今後、皇室のことは、週刊誌が決めることになりはしないかと心配です。国民の声などほおっておいて、皇室のことは皇室で決めて肅々と儀式をすめていくのが本当だろうと考えています。

徳永さんついにブチ切れた。このような乱暴な物言いをする人じゃないんですけどねー  
マスキ

埼玉 村田春樹

徳永先生の御説に全面的に賛成です。満腔の敬意と謝意と賛意を表します。私も終生「眞子様」とお呼びし、「ご多

幸を心から祈ります。

アイデンティティ 高目浩一

徳永信一弁護士のご投稿に全く賛成です。

皇族の恋愛や結婚を「公の事」だという主張について

2021年9月26日

いえいえ。どこまでも皇室の「私事」とすべきでしょう。国民が口出しする筋合いのものではありません。「公の事」というのは、どういふことか

ようか。秋篠宮が国民に祝福される結婚をという、それが公の事になるということも理解できません。皇族としてそのことを願うのは当然でしょう。そう願うことで「公の事」になり、国民が干渉できる事柄に属するといふのは皇室は国民の監視のもと、あれやこれやという傲慢な国民の指示を受ける存在になりがちです。芸能人でも「国民の関心事」であれば、誰と付き合っているかについて週刊誌に書かれてもしかたがないといふのが裁判所の法理ですが、そんな芸能人風情と皇室が同じようになりませにされてしまうのは我慢がなりません。

自分たちの意向や価値観とちがう行動や言動を皇室が行うことにあれこれ口を出すというのは、それ自体が不敬であり、敬意を欠いた振舞だと僕には思えてなりません。それでも、あれこれと皇

族の恋愛や結婚についてまでピーチクパーチクをはさむのが当然だということお考えであれば、それこそ道徳観が違つというしかありません。

私事ではなく公であるという言葉をどういう意味合いでお使いになつてい

るのか、よくわかりませんが、それが主権者たる国民が民主的に関与できるといふ意味合いでお使いならば、絶対に容認できません。

また、芸能人のプライベートが公の関心事といふことで、国民がピーチクパーチクする対象であるといふのであれば、国民の民度の問題でしょう

皇室のご結婚を、国民が決めたり、週刊誌の下衆な報道をもとに国民がしたり顔で論じるのをみてるのが背筋がぞつとします。紛れもない男系皇族である眞子様の恋を信じようではありませんか。

日本維新の会

2021年11月3日

僕は、維新は、自民党が憲法改正を成し遂げることをサポートするのを使命として生まれてきたのだと信じています。来年の参議院選挙で改憲派が自分の心を占めれば、いよいよ改憲に向けた情勢が整つてきています。そのために維新にはますます頑張ってもらふ必要があります。

タクシーに乗って運転手さんと話をしているときよくわかります。都構想の頓挫で維新が低迷するからと思いきや、共産党と組んだ自民党に対する

うんざり感が蔓延しているのです。「ロナ対策に対する吉村の人氣はすさまじいものです。成功したか失敗したかではないのです。一生懸命やっている姿が府民に受けているのです。この情勢はしばらく続きます。少なくとも次の参院選も。政治には常に良い面と悪い面があります。そこを総合的にどうとらえるかです。理系の人には、一面をみて全体を見ない人がいます。小利口といふべきなのか。Zさんは文系だったとうかがっていますが、なにか小利口な理系にみられる一面的なところを感じるがあります。

大阪は民意を正しく反映していません。かつて京都、東京とともに、共産党が支配する革新府政を引いたことがありました。自民党が支配したときには解放同盟その他の左側の利益団体とスブズブになりました。その自民党に対する保守の怨念を晴らして下克上させたのが維新です。彼らは教養がありませんし、頭がよくはありませんからおかしなことを沢山いいます。それを論ってエリート然として批判しても仕方がないでしょう。

長尾さんや中山さんが落選したことは痛恨です。しかし、辻本を落とすのは、自民候補ではできませんでした。功罪相半ばすることを認めて、対局を見通さないと、政治は「革命」が起らない限り、このような揺れ動きを永遠に続けるのです。保守派は「革命」を望まないのです。いったりきたりの塩梅をもって政治と観念するのが政治的保守だと認識しています。

# 各位。各団体等からの報告。ご意見

## 川嶋辰彦氏の「冥福を祈る」

11-8 埼玉 村田春樹

川嶋辰彦氏が亡くなった。氏は周知の通り東大卒業大学院大学教授だった。その父川嶋孝彦氏は東京帝大卒業内務省勤務、統計局長というエリート官僚だった。その妻つまり辰彦氏の母上は旧姓池上紀子、その父は池上四郎元大阪市長である。

会津藩の士族に生まれ白虎隊を志願したが12歳だったので選に漏れ生き残った。斗南で粒々辛苦、巡査として警察に入ったが栄進して大阪市長になった。人望抜群で戦前銅像が建てられたが金属供出されてしまった。戦後、その面影を慕って有志が銅像を再建、大阪天王寺公園入口に現存している。私はこの夏にわざわざ撮影に行った。(添付の写真参照) 一方辰彦氏の妻つまり紀子妃殿下の母上は旧姓杉本和代、その父杉本嘉助は静岡出身、横浜高等工業(現在の横浜国大工学部)を出て満鉄の技術者になった。終戦時は副参事の要職にあった。高等工業は大學ではないが高等教育を受ける人が少なかった戦前、エリートと言って過言ではない。満鉄は人気企業であり、今に喩えれば東大工学部→日本航空と言ったところであろうか。いずれにせよ当時

は人の羨むエリートだった。終戦後引揚げてきて静岡に住んだが、裕福とまではいかなかったようだ。いずれにせよ、将来の皇后、天皇(悠仁親王殿下)の母君のご両親としては文句の付けようのない方々であった。川嶋辰彦氏の「冥福を祈る。なお葬儀に小室圭さんが参列した。が当たり前である。また小室眞子さんの表情が硬く暗かった、と喜んでいる向きもあるが、葬式では当然の表情である。蛇足ながら申し添える。(一部敬称を略させていただきます)

## 長崎市平和公園に「韓国原爆追悼碑」が建立されるようとしています

10-22 神奈川世論の会 木上和高

日本語の碑文と韓国語・英語の碑文の内容が全く異なり、韓国語・英語の碑文には「意思に反した強制動員」「強制労働」「数千から一万人が犠牲」など、日本語の碑文にないことが記載されているようです。パブリックコメントで市民に知らせることもなく、衆議院選挙中にバタバタと進める意図がうかがえます。つきましては、至急以下の要領により長崎市に抗議のメールやFAXをお願いします。

略

問題の本質は、碑の文面の3カ国語表記のうち日本語は当たり障りない追悼ですが、英文では日帝支配軍政下の強制動員動員と明確に記されている

・慰安婦問題、軍艦島、徴用工で繰り返される謝罪と損害賠償請求への足掛かりがこの碑である

・既に英文のみならずスペイン語でも世界中に捏造がばら撒かれている

・蝸語を来した日韓問題の解決役は外務省だが碑の設置まで時間がない

・11/8の碑の設置式典には、市長と県知事が招待されており自治体のお墨付きを得る狙いですね。

## 反対 韓国人原爆追悼碑の建立

10-29 神奈川大学教授小山和伸

以下のようなメールを、長崎市の原爆被爆対策部調査課と、土木総務課長のもとに送りました。ご報告致します。

「強制連行等の史実に関する碑文があると言われている、韓国人原爆追悼碑の建立に反対致します。第一、被爆者の追悼碑が既にあるのに、ことさら韓国人の追悼碑を建てる趣旨は何ですか。さらに「韓国人被爆者」とは何ですか。」

被爆当時、朝鮮半島出身者も全て日本人だったのではないですか。韓国は戦後に建国されたのですから、つまり「韓国人被爆者」というものは存在しないわけです。もし、朝鮮半島出身者の追悼碑が必要だと言うなら、北海道や九州、四国、関東地方出身者など、全て建立しなければならぬはずですよ。

「徴用」などと一口に言っても、半島出身者の中には、何倍何十倍という競争率の日本企業に、試験を受けて入社している者も大勢います。

史実に反する記念碑などを立てて、国家の名譽を貶める行為に、決して加担することのないよう御願いたします。

## 木上様に拝復 東京 加藤幸彦

閑話休題 小山和伸先生のご意見に全く同感です。徴用工の問題にしろ、被爆の問題にせよ、当時は、元朝鮮民族であっても日本人のですから、寧ろ差別などあってはならないのです。南アや米国の黒人が差別するな、と闘ってきました。被爆碑を提案している方は現在日本国籍を取得しているのか、永住権を取得しているのか、あるいは韓国人なのか分かりませんが、韓国人であるならば、外国人ですから、そんな外国人が日本の国土に建造物を建てる権利は皆無、日本に帰化して日本の国籍を持ち、地主であるならば日本の法律に従うべきで何れにせよ、そんな申請に耳をかす必要は皆無です。

**うまい！高市さん。「日本は墓まで暴く文化じゃありません」。暴論に対してもさらっと返すんや。**

10.14 ナニワの激オコおぼちゃん

次の自由民主党、第101代総理大

臣には必ず高市早苗さんになってもらうために、私は自民党に入党する手続きを始めました。先日、ようやく申込書類が奈良の高市さんの事務所から届いたので、用紙に記入し、入金して送り返しました。来年も党費4000円を払えば、少なくとも3年後の総裁選には選挙権があるわけですね。

高市さんの事務所もめっちゃ忙しいですね。「サナエタオル」も欲しかったですですが、すぐに売り切れてしまいました。どれくらい人気ですね。この調子で3年後までに党員票をいっぱい集めたら、一回目で総裁選勝利も可能やんか(笑)。河野太郎くんも、100万人集めたら圧勝と言っていましたね。自分では人気があると思ってるからでしょう。

負けてられへんで。高市さんも3年で100万票獲得や！実は自民党の党員数は今は100万人ですが、過去(1991年)には500万を超えてたこともあり、200万、300万で推移してた時期もあったようです。可能性は大いにありますね。

そして高市さん、自民党の選挙公約の発表で、地上波テレビの露出が増えましたね。昨日(10/13)もBSフジ「LIVEプライムニュース」で、視聴者からの「靖国参拝を」批判されないために靖国からA級戦犯を分祀するしかないと思います」という質問に対して、「日本は寧ろで暴く文化じゃありません」と答えてはりました。これは、番組の最後に残り1分も無いことがわかってわざとやっている質問

ですね。反町理くん、あなたはアホか。日本にはもう「戦犯」はおらんや、神様はいっぺんお祀りしたら移されへんのやと、私なら言うてしまいますが、そこが高市さんの答への素晴らしいところですね。

実は前にフジテレビ「日曜報道」DRINK」で、橋下くんにしたのと同じ答え方ですね。「戦犯」の話、「分祀」の話は始めたらけっこう時間がかかる、それを必死で言おうとする、物事をよく知らん人から見たら、余計に言い訳がましくなる、そんなマスコミのイジワル質問に、見事な切り返しやと、改めて思いました。

「日本は寧ろで暴く文化じゃない」「墓まで暴くのは中韓やんか」、日本人らしく、罪を償った人には手を合わせまじょうやという、日本人の情に訴える話を一言で表現してはるわけですね。そして「墓まで暴く」「墓まで暴く」の言葉がしつかり残ると。そうや、「中国」や韓国みたいには、なりとうないなと後でわかる、と。上手いなあ。高市さん。

「覚醒」した日本人はどんどん増えて来てると思いますが、毎日のようにマスコミがそれこそ反町理くんが豊みかけ、橋下徹くんがしつこく食い下がってきや、みだいに思わせようとするような攻撃に対しては、こうやってさらりと本質を突きつつ、日本人の情に訴えるような表現を、これから見習っていききたいと思えます。自分だけがわかってしめて、他人をアホやアホやと攻撃するだけでは、味方は

増えへん。気い付けなあかん。ふだん政治のことなんかあんまり考えることのない人たちに対して、共感を得られるような言葉、表現で、しつかり本質を伝えられるように、これからも勉強して行きたいと思えます。

### 秋篠宮眞子内親王殿下御結婚

10-29 静岡 川久保勲

昨日(令和3年10月26日)、小室眞子西氏の御成婚の会見が行われた。それに先立つ、赤坂御所の玄関前での秋篠宮殿下及び佳子殿下と眞子殿下のお別れの場面をテレビで見た。秋篠宮殿下の慈しみを込めた眼差し、紀子殿下の悲しげで心配そうな眼差し、佳子殿下の姉を励ますような抱擁、その後、眞子殿下が車に乗られて少し窓を開けられると、秋篠宮殿下は覗き込むようにしてずっと手を振っておられた。娘の結婚をどんなにかきちんと祝いされたかったかと、それを考えると涙を禁じえなかつた。

秋篠宮殿下は昨年11月の御会見で「結婚は認める、但し納采の儀は行わない」おっしゃられた。これには、二つの重要な意味が込められていると拝察した。一つは、万が一「女性宮家創設」が決まった後に結婚されると、小室氏が皇族になり、ひいては女系天皇への道を開いてしまう。それを避けるために、今のうちに結婚させる。もう一つは、納采

の儀をしないことよって、小室家とは親戚つきあいをしない。これによつて、皇族と小室家との縁を断ち切ることもできる。何れも、皇室を守るための方策である。(注、皇室を守るということは日本を守ることと同義語である)

昨日の小室ご夫妻の会見で分かったことは、いかに眞子殿下が誹謗中傷に心を傷つけられておられたことかということだ。即ち、俗悪なる週刊誌やテレビ等の影響を受けたであろう国民の多くがこの御結婚に数々の非難を加えていたということだ。秋篠宮殿下はこの心ない国民の声に配慮されて、賢所の儀や朝見の儀も行わず、更に、税金を使うことになる一時金の支給も取りやめるように計らい、その上、可愛いお嬢様の結婚式へ諦めて、眞子殿下と決別される姿を国民に示されたのではなからうか。娘を祝いたいという私情は一切抑えて、万感の思いを持って愛娘(まなむすめ)との永遠(とわ)の別れをなされたのではないか。

これも皇室、ひいては日本を守るためであろう。このような素晴らしい皇室を懐いていることに、我々国民は満腔の感謝をすべきではないか。眞子殿下は皇族としてのお勤めを立派に果たしてこられた。この上は、我々国民はそつと小室眞子さんのお幸せをお祈りしたいものである。最後に、拙作を一首。三年(みつとせ)も離れて愛をはぐくみし尊きひとの幸を祈らむ

# ちちと新聞より

## 「拉致問題の闇を切る」 官房長官への要請

### 11.02 特定失踪者調査会 荒木和博

本稿が掲載されるころは総選挙の結果が出ているはず。

今回の選挙では立憲民主党の千葉の区候補であった生方幸夫議員の「横田めぐみさんは死んでいる」という発言はそれなりに話題になりましたが、それを別にすれば拉致の話題はほとんど出なかつたと思います。私が気付いていないだけで、熱心に訴えて下さった候補者がおられたらお詫びしますが、いずれにしても大多数の候補者にとつては「拉致問題」ではない「いつたところだったのしょう」。

しかし、私に言わせれば逆に「選挙」どころではない」というのが正直なところ。国会の拉致特も2年も開かれないというていたら、政権が始まるときは「最重要課題」、終わるときは「断腸の思い」の繰返しでは期待をしうという方が無理です。そして残り時間はどんどん少なくなっていくままです。

ですから、選挙最終盤ではありませんが、10月28日に私は拉致問題対策本部事務局に赴き、下記の松野博一官房長官兼拉致問題担当大臣への要請文書を手交しました。ともかく「拉致問

題を解決して下さい」とか言ったところで、「はい分かりました。政権の最重要課題ですから認定の有無に変わらざるやります」とおしまいです。要請文書の内容はそれぞれ具体的なものに絞っております。

「拉致被害者全員の一括帰国」は北朝鮮にぶつける要求であって現実にはできないものではありません。そして北朝鮮が動かなくても日本の中でできることは山ほどあります。ともかく「いつたところ」を進めていくことがとても大事です。ぜひ皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

(要請文書)

令和3年10月28日

内閣官房長官兼拉致問題担当大臣

松野 博 一 様

特定失踪者家族会会長 今井英輝  
特定失踪者問題調査会代表 荒木和博

平素の拉致被害者救出のためのご尽力に心より敬意を表します。さて、総選挙の最終盤に誠に恐縮ではありますが、今次選挙でも拉致問題はほとんど争点になりませんでした。被害者及び家族の年齢を考えれば時間の経過は「停滞」ではなく「悪化」です。一刻も早い進展のため、以下の各項目についてお願いする次第です。何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

## 嗚呼、アメリカ!

### 2021. 11. 03 衆議院議員 野伏翔

日本にとって最も大切な同盟国と言えば、差し迫った中国の脅威を前にした今、益々アメリカ以外には有り得ないのでは。

だがその超大国アメリカの力がついに揺るぎ始めている。去る8月31日、アフガニスタンの米軍駐留部隊は20年に亘る史上最長の戦争に終止符を打つと言つて撤退したが、多くの人々が取り残されたままの撤退であり、バイデン政権の選択はアメリカの威信を低下させた。国内においてもメキシコ国境からの不法移民は後を立たず増える一方。黒人の人権を主張するブラックライフスマターの破壊活動はますます勢いを増し、ニューヨーク、シカゴを初めとする大都市ではその圧力に屈し、白人警官の数が20から30パーセントも削減された。その結果白人警官は黒人の絡む凶悪事件が起きても現場へ出向くことを恐れ拒否する者が多くなり治安はますます悪化、必然的に一般の市民たちは自己防衛のために武装する。

憲法の権利条項2条で銃の所持を認められている国アメリカでは、今歴史上例が無いほどに銃器の所持率が上がっていると言つ。

アメリカは私たちに切つても切れない縁のある国だ。76年前日本が死力を尽くして戦った相手は紛れもなく現在の同盟国アメリカである。日本中の都市爆撃、沖縄戦、そして広島、長崎

への原爆投下という民間人に対する世界の戦史上、たいへん希な大量虐殺により敗北した日本の国民は、その敵国アメリカの食糧援助により生き延びた。

私は日本が曲がりなりにも独立を回復した、サンフランシスコ平和条約が調印された昭和27年の生まれである。小学校に入った頃からテレビが普及し始めたが、未だその頃は白黒テレビだった。そして日本人の手による子供向けの番組として「月光仮面」「少年探偵団」「ハリマオ」などがあつたが、小学校高学年になって観たテレビは圧倒的にアメリカのテレビドラマであつた。「名犬ラッシー」「フラミンゴ牧場」「拳銃無宿」「ボナンザ」「ローハイド」「ハワイアンアイ」そして隔週金曜日の「ディズニートゥーン」。

正直言つて私は江戸時代のちゃんまげ物を見るよりも、アメリカの西部劇を見る方に郷愁を感じてしまふ。ドラマの持つ力とは恐ろしい。この洗脳とも思える私のアメリカへの憧憬が解かれたのは、20歳を過ぎてから見た「ソルジャーブルー」と言うアメリカインディアン虐殺の映画であり、「ルーツ」と言う黒人奴隷のテレビドラマであつた。

最近、忘れかけている英語の勉強を兼ねて「AMERICAN HISTORY IN SIMPLE ENGLISH」という対訳本を少しずつ読んでいくが、つくづくアメリカとは原罪を背負つた国であると感じる。

# 今月の新聞報道。ニュース等

## 武蔵野市長、住民投票条例案を発表 外国人に投票権

2021/11/12 18:47 産経

外国人と日本人を区別しない住民投票条例の制定を目指す武蔵野市武蔵野市の松下玲子市長は12日の定例記者会見で、外国人と日本人を区別せずに投票権を与える住民投票条例案を19日開会の市議会に提案すると正式発表した。外国人参政権の代替として利用されかねないとの市民の懸念に対しては「論理の飛躍だ。同性でも離婚する人がこれだけいる中、夫婦別姓制度を実現すると『家族が壊れる』と言っている人に似ている」と揶揄した。条例案では、市内に3カ月以上住んでいる18歳以上の日本人と定住外国人に投票権を認める。留学生や技能実習生らも含め、日本人と同一条件で投票権を付与する条例は全国3例目とみられ、松下氏は「市民自治の推進が期待できる。市民参加の手法の一つであり、外国籍住民を対象から除くことに合理的理由は見いだせない」と述べた。大多数の自治体は、そもそも住民投票での外国人投票権を認めていない。在留期間などの要件を別に設けている。松下氏の主張に沿えば「不合理」な判

断をしていることになるが、この点について「市民自治を推進していない自治体もあるかもしれない。市民参加が半世紀にわたって息づいている町は『こうじゃない』と胸を張った。」

## 武蔵野市「住民投票条例」問題めぐり自民党派、反対方針 小美濃市議「賛成できない」 市民団体も撤回に向け署名活動開始

11/17(水) タカフジ

東京都武蔵野市が19日開会の市議会に提出予定の、外国人にも日本人と区別せずに住民投票権を認める条例案をめぐり、自民党派系会派の「自由民主・市民クラブ」が反対する方針を固めた。「反対派」の住民も、松下玲子市長に条例案撤回を求めて署名運動を始めた。同条例案をめぐるのは、外国人参政権の代替制度になりかねないとして懸念の声が上がっている。

「市民の理解が十分に得られておらず、賛成できない」自民党の小美濃安弘市議は、産経新聞の取材に、こう語った。ただ、市議会の定数26人に対し、自由民主・市民クラブの市議は8人。立憲民主党派系の会派や共産党市議団などは賛成に回るとみられ、市議会公明党など残る会派の動向が採決の結果を左右する。

12月21日予定の採決に向けて、小美濃氏は「他党派にも理解を求めていきたい」と述べた。市民団体も動き始めた。「武蔵野市の住民投票条例を考える会」は15日、市議会議長に条例案の廃案を求め「陳情書」を提出したうえで、反対署名を集め始めている。今週末にはJR三鷹駅前などの街頭で集める。

## 神奈川世論の会 木上和高

武蔵野市で外国人にも投票権を与える住民投票条例が検討されています。外国人参政権への一里塚

外国人は住民ではあっても国民ではありません。外交・防衛・エネルギー、教育など国民としての判断が問われる事項の場合、外国人の投票権を認めることは不適切です。武蔵野市のように常設型であらかじめ外国人の投票権を認めると、安全保障に関係する事項に外国人が投票するような事態が起こり得ます。国家主権の侵害であり外国人参政権への一里塚となります。

## ○衆議政治への転落

そもそも住民投票は、扇動やプロパガンダ、目先の利害やムードに流されやすいという欠点があり、投票結果が正しい選択とは限りません。また間違った選択であっても市長も議会も責任を負わないという無責任体制になります。武蔵野市のような熟議を経ない常設型ではその傾向が強く、衆議政治に陥る危険がある。○政治的濫用による市民自治の崩壊 常設型の最大の問題は政治的濫用が起り得ることです。市町村合併のケースを除けば、常設型で行われた代表的事

例は岩国市の米空母艦載機移駐計画に伴う住民投票ですが、市長の政治的思惑などもからみ大混乱を招いた末に、市民自治を崩壊させたといわれています。常設型は政治的濫用という大きなリスクを内包しています。また、賛否が拮抗する事項では後にしこりが残り、市民が分断されるという指摘もあります。

## 50年以上続く伝統 陸上自衛隊松本駐屯地で若手自衛官が野沢菜の漬け込み

11/17(水) 信州テレビ

長野・松本市の陸上自衛隊松本駐屯地では、野沢菜の漬け込みが行われてきた。1964年から50年以上続く伝統の漬け込み作業。全国から隊員が集まる松本駐屯地では、この時期の信州の風物詩を体験してもらおうと、毎年行われています。17日は20歳から21歳の若手自衛官5人が協力団体の女性から教わりながら行いました。地元産の野沢菜40キロほか大根100キロも漬けました。来月中旬から駐屯地内の食堂で提供されるということです。

涙が出るほど平和な日本。この平和を何があっても守っていかねばならない。「平和を守る」は左翼の専売特許じゃないぞ。 マスキ

# 連合艦隊各艦の予定・活動報告

## NPO法人百人の会

●弊NPO法人百人の会は、平成元年(2月を最後)、「コロナのため約2年間勉強会等の活動を休止してしまいました。第6波が来るとか来ないと言われていますが、今のところ何とか収まっているようです。左記要領で、活動を再開いたします。コロナは一旦収まったと思っておりますが、ご参加はネットで開催をご確認ください。

【月日】日時・R3-12-18(土)

- ・第42(通算108)回定期理事会  
○午後1時40分～
- 主な議題

- 第12(通算23)回定期総会議  
題の確認
- ・第12(通算23)回定期総会  
○午後2時00分～
- 主な議題

- R2年度の会計報告等の定例議題
- R1年度の書面総会の報告
- その他

- 【会場】サムティフエイム新大阪4F
- 【基調講演】
- 京都北山 九頭神社宮司 中村重行
- 「今一度考える『教育』とは」
- 教育のバージョンをやめよう！

【理事会】2～3か月毎に開かれ、会の重要案件を議論します。理事会は理

事の方はもちろんのこと一般の出席も大歓迎です。

## 台湾人日本国籍確認訴訟支援の会

●次回公判(判決)の期日が決まりました。

期日 令和4年1月11日14:00

(抽選13:20)

会場 東京地裁103号  
台湾人日本国籍確認訴訟支援の会  
東京幹事 一瓶文隆

## 大阪おばちゃんの会

●次回口頭弁論の期日

期日 1月13日15:30  
会場 大阪地裁806号

事務局

## 編集後記

政治家の覚悟 M情報 増本重夫

今回の衆議院選挙でいくつものことを学んだ。あれもこれも甲乙つけがたいが、後日、特に感動したのは、東京一区から出て比例当選した、元熊本県副知事、小野泰輔氏。ある人からこの話を聞いてネットで確認したのだが、背筋に電気が走った。

「ほとんどの人が討ち死にするかもしれない。それでも維新の『身を切る改革』を広めたい。そうしなければ日本はよくなる。僕はその捨て石になる。」と街頭演説で話された。これどういふこと。政界を改革するため、落選覚悟で出馬したのだ。まるで特攻。片道燃料で離陸した。よく、「次回が本命で今回は名を売るため」などと、戦術的に候補補する話を聞くこともあるが、そんな半端な話じゃない。私は彼に、新橋のSの後ろにあるビルの三階の喫茶店で偉そうに話していかねばならない人だ。

巷間「自民は公明と別れて維新と連立すべきだ。」との声を聴く。私はそれはないと思う。連立を組むためには政策が一致しないといけない。そうだろうか。私はそう思はない。最も大事なことは『政治哲学』の一致ではなからうか。価値観である。政策の違いなど微々たる話し。すの寄ったらしまいだ。ところが、哲学が違ったら、価値観が違ったら連立は無理。自民は公明と哲学は違う。そもそも公明に哲学などない。政策が一致し

#####

## 原稿・同封資料の募集、メール配信について

●弊紙は購読料は頂戴してありません。

ているようなしていないような。それも利害関係で無理にくっつけた政策だ。そのような泡沫の関係で連立している。維新も、50年前の自民なら連立を組めたかもしれない。そう、『編のハンカチ』藤山愛一郎先生らが政治の中枢にいたころなら。そもそもそうであれば維新自体が生まれる必要性がなかったわけだが。

「権力は腐る。」という。具体的にどういふことか。それは政治家としての公務員としての『滅私奉公』という気持ちが希薄になり、『滅公奉私』という気持ちが増加することだと思ふ。ここ50年、自民党に権力が集中しすぎて、利権が生まれすぎた。その中で溺れかけているのでは。

『滅私奉公』今となっては国語の参考書の四字熟語にしか載っていないような言葉だが、私は政治家のあるべき姿を現していると思ふ。

「身を切る改革」・・・私は滅私奉公の証として維新が考えたのがこのキヤッチコピーだと思ふ。ちょっと軽いので気に入らないが。まっ、いいか。

『M情報』では、日々、全国各地の仲間から情報が送られてきます。それをメルマガで転送配信します。内容はどこよりも詳しく多種多様。試しに一度受信してみませんか。要領は巻頭のアドレス「メール希望」と空メールを(発信名義「NPO法人百人の会」)。

## 活動資金の協力をお願い

郵政番号 00980-8-245547 MASUKI 情報デスク  
〒604-8612 099-0245547 MASUKI 情報デスク  
三軒丁 藤井 千恵子 代表 0044349 総務 増本重夫